

令和2年度 俣野小学校 校内研究計画

研究テーマ	<p>「進んでやる気の俣野っ子」</p> <p>～豊かなかかわりを築くための授業実践～</p>
研究テーマ設定の理由	<p>研究主題・サブテーマは、7年前からの継続である。豊かなかかわりに重点を置き、今まで2年間継続して研究してきた外国語をさらに深め、広げていきたいと考えた。本校の児童は、全体的に素直な子が多く、教えられたことや指導されたことは吸収する。しかし、自分のことを伝えたり、表現したりすることが苦手である。そこで子どもどうして自分のことを伝えたり、相手のことを聞いたりする場面を学習の中で多く設定し、豊かにかかわる機会を増やし、自分のことを表現する力をつけさせていきたい。</p>
研究の進め方等	<p>低・中・高学年・またの学級の4部会に分かれ、1学期はまずテーマに沿った外国語、外国語活動の教材研究を行う。そして各クラスの児童の実態を、部会のメンバーと授業を見合う中で見ていくことにする。年間を通して一人一回授業公開を行い、各部会で授業検討を行う。また、各部会で一本は校内全体の公開授業を行い、研究協議を行う。</p> <p>研究会は、毎月上旬に1回行う。4月は全体会を開き、テーマの確認や研究の進め方を決定し、その後は部会を中心に進めていく。2, 3月は、各部会の研究成果のまとめと振り返りを行う。</p>

***各部会の研究内容**

・低学年部会（1，2年担任、TT）

外国の文化に触れ、親しみを抱く子どもを目指し、外国語の文化や人に興味をもつ資質・能力を育てる。そのために、国の文化や人に興味をもてる視覚教材を活用し、音楽や体育などで外国の歌やゲームをするように、他教科との関わりを考えていく。また、昨年度の取り組みも活用していく。

・中学年部会（3，4年担任、養護教諭、栄養士、支援）

外国語を使ってみようとする子どもを目指し、外国語を使って話したり聞いてみたりしようとする資質・能力を育てる。そのために、歌やゲームを取り入れて、外国語に慣れ親しめるようにしたり、授業の流れをパターン化して定着を図ったり、デジタル教材を活用した授業づくりをしたりした授業の工夫をする。

・高学年部会（5，6年担任、音楽専科）

外国語でコミュニケーションがとれる子どもを目指し、失敗をおそれずに、簡単な外国語を使って、短い会話のやりとりをしようとする資質・能力を育てる。そのために、必然性のある活動（友だちどうしでの会話）や基礎・基本の積み重ねと活用（アルファベット）、授業内容のパターン化（ペアトーク）を通して、安心して授業に臨めるようにする。また、音楽の授業との関わりも考えていきたい。

・またの学級部会（またの学級担任）

自分の気持ちを伝えられる子を目指し、自分の気持ちを表現したり、伝えたり、相手の話を聞いたりする資質・能力を育てる。そのために、一人ひとりに合った課題に取り組み、授業を通してコミュニケーションスキルを身につける場をつくる。また、子どもが興味をもつ教材を見つけ、それを活かした活動も展開する。

***研究の重点**

柱の授業者の授業について、部会ごとに授業案や指導案をそれぞれが関わって創っていく。その際、評価についても検討していきたい。また、授業者のクラスの児童の様子を、公開授業前後も継続的に見ていき、児童の姿の変容などをもとに研究協議が進められるようにしていく。